

学校法人 名古屋国際学園 Nagoya International School

Units of Inquiry 教科の枠を超えて

「多元的知能理論 (Multiple Intelligences)」をご存知ですか？ ハーバード大学教育学大学院のハワード・ガードナー教授が提唱する、人間の知能に関する理論です。それまで、知能とは、知能テストで測ることのできる単一的な能力だと考えられていました。これに対してガードナーは、人間の知能はもっと多元的で異なる方向性を持ったものであるとして、知能を8つの種類に分類しました。先日、名古屋国際学園の生徒、教師、保護者達は、この「多元的知能理論」について学ぶ機会に恵まれました。教えてくれたのは、小学部2年生の生徒達です。

● One Size Doesn't Fit All

子どもが何かを学習する場合、自分の身の回りのことや、それまでの知識や経験に関連づけることが出来たとき、学んだ事が最も身に付くといえます。子どもの個性や能力、育った環境、経験は様々です。インターナショナルスクールのように、世界各国から様々な文化や背景を持った生徒が集まる学校ではなおさらです。決められた内容を画一的に教える方法では、全ての生徒が既存の知識や経験と結びつけるのは難しいでしょう。

ではどんな方法で学習すれば良いのでしょうか？ 例えば、あるトピックについて知るためには、本を読んだり、人の話を聞いたり話し合ったり、インターネットで調べたり、と様々な方法があります。リサーチの結果を人に説明したり、文章にしたり、図や絵に表したりすることで、更に理解が深まります。もちろん、従来の国語、算数、理科、社会といった科目を軽視しているわけではありません。IB 初等教育プログラム (PYP) は、そういった基本的な知識があることを前提として、更に、本当に社会に出てから必要となる、考える力、コミュニケーション力、社会性、計画性、実行力の育成を目指しています。

● あなたはどんな “Smart” ですか？

PYP の根幹を為すのは、Units of Inquiry / UOI (探究の単位) と呼ばれる6つのテーマです。

いつの時代でも、いくつになっても、どこへ行っても重要な普遍的なこれらのテーマの1つ1つについて、1年間をかけて“探究”します。それぞれのテーマにおいて、教科の枠を超え、幅広い分野で様々な視点により探究が進められるので、各 UOI で具体的にどんなことを探究するのかは、学年ごとに、クラス担任やその学年に関わる複数の教師が話し合って決めます。今年の2年生の最初の UOI、“Who we are” では、自分たちのコミュニティはいろんな能力や考え方を持った人の協力のもとに成立しているということを中心に、多元的知能、すなわち“8つの Smart” について探究を深めました。Word Smart, Body Smart, Math Smart, Nature Smart, Art/Space Smart, People Smart, Music Smart, Self Smart の8つの Smart は、2年生にも分かりやすいように易しい言葉に変えてはありますが、ガードナーが提唱した8つの知能と同じ内容です。

生徒達は、人はそれぞれ違う “Smart” をいくつも持っていること、自らのコミュニティもいろんな Smart を持った人達で構成されていること、自分はどの Smart に当てはまるのか、自分の Smart をどうやったら活かせるか、人のために役立てることが出来るかなどについて探究し、その成果を表現する手段として、誰もが持っているいろんな Smart について説明したビデ

